

8-3-12 業務システム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 業務システム委員会の開催

委員会開催回数：6回（4月～3月）Web会議

(2) 業務システム委員会の組織

業務システム委員会は、コンサルタント業務の形成・選定・契約・実施の各段階における諸課題の整理、解決策の提案、実行に関することを目的に、選定・契約専門委員会、業務形成・実施専門委員会から構成される。

(3) 委員会の活動

委員会では、2つの専門委員会の報告ならびに関連する他の委員会からの要請に基づき、目的達成のための検討方法、成果のイメージ、改善方法などを議論し、各専門委員会と委員会が連携して実態把握のための調査と解決策の提案を行った。また、業務評定点、表彰の実態調査は委員会による継続調査として令和2年度業務について、各支部に国土交通省開示の地整別業務評定点の平均値と表彰の実態、その運用について調査し、参考となる事項を整理、提供した。

a) 選定・契約専門委員会

- ・ 技術力による選定拡大の推進：平成9年度の発注案件から、継続的に実施しているプロポ、総合評価に関する調査であり、令和3年度の契約業務について例年通り実施した。集計・分析結果はHPに掲載予定である。
- ・ 地方自治体の入札契約方式に関する実態調査：平成17年度より継続して都道府県、政令指定都市を対象として、令和2年度業務の入札契約方式に係わる諸制度の実態を調査した。
- ・ 国交省の落札結果の分析：各地方整備局公表データをもとに令和3年度発注業務を対象に標記分析を実施し、発注状況や落札率の実態ならびに総合評価方式の課題について整理した。
- ・ 建コン協のDX推進（業務効率化の促進）：

入札・契約段階、納品段階での作業・書類の完全電子化に向けた実態把握を行い、問題点・課題及び解決策について提案をとりまとめた。

b) 業務形成・実施専門委員会

- ・ 契約時期と納期月に関する調査：改善提案に対する業務の契約月、納期月の平準化の状況を確認するため、令和2年度業務を対象に委員会内企業を対象にアンケート調査を実施し、納期の平準化に向けた解決策をシミュレーションし、提案をとりまとめた。
- ・ 設計変更ガイドラインの運用実態調査：標記制度や各地整の補足資料が積極的に活用されているか、またその課題について委員会内企業を対象に実態調査を実施した。
- ・ 若手・女性技術者の活用実態調査：人材育成を目的とした試行運用が拡大してきた当該制度について各地整の運用実態を調査し、望ましいあり方について検討、提案した。
- ・ 建コン協のDX推進（業務効率化の促進）：業務遂行段階における電子活用として、ASP及び遠隔臨場の積極的活用に向けた実態把握を行い、問題点・課題及び解決策について提案をとりまとめた。

2. 他委員会との連携状況、関連作業

(1) 他委員会との連携

委員長は企画部会へ活動報告を行うとともに、対外活動委員会、地域コンサルタント委員会、常任委員会へ出席し連携活動を行った。また、未来塾メンバーとして国交省技術調整課との会議へ出席し、検討テーマについて議論した。

(2) 関連作業

各専門委員会で作成した令和4年度の「要望と提案」、「白書」に関する作成資料、執筆原稿の総括を行った。

3. 次年度の活動について

令和3年度に検討・提案した建コン協のDX推進（業務効率化の促進）を除き今年度活動を継続する。

（業務システム委員会委員長 木村 誠一）